

「JAグループ国産農畜産物商談会」 4年ぶり実開催 神奈川の多様な品目がバイヤーをお出迎え

2月1日・2日の期間、「JAグループ国産農畜産物商談会」が東京都立産業貿易センター浜松町館にて行われた。全国各地のJA、農業法人など87団体が出展し、JA全農かながわは湘南ゴールドやレディサラダ、やまゆり牛など神奈川ならではの多様な特産品38品目を、バイヤーにアピールした。

本商談会はJA全農、JAバンクが主催し、農林水産省が後援している。コロナ禍により中止やオンライン展示のみの実施にとどまっていたが、今回4年ぶりに実開催。両日あわせて1,061人の来場者数を記録した。JA全農かながわのブースは入口付近の壁際にあり、目を引く色とりどりののぼりを配置。多くのバイヤーを



出迎えた。また、試食や事前予約制の商談も実施され、出展者とバイヤーの会話も盛り上がりを見せた。出展のとりまと

めを担当した総合対策室の藤澤怜香職員は「たくさんのご協力を頂き、コロナ前と変わらない品目数で来場者に県産農畜産物・加工品のPRを行うことが出来た。今後は継続している商談について成約につながるようアフターフォローをしていきたい」と今後の展望を話した。



主な出展商品・品目

JAよこすか葉山(すかなごっそ)	わんちゃんかぼちゃクッキー、「よこすか野菜のレストラン」横須賀トマトのトマトカレー
三浦市農協	レディサラダ、高菜、早春キャベツ、青首大根
JAさがみ	トマト
JA湘南	きゅうり、種なしピーマン
JAかながわ西湘	キウイフルーツ、湘南潮彩レモン、湘南ゴールド
JAセレサ川崎	ピューレ(多摩川梨、柿)、香辛子トマトみそ
(株)神奈川農協茶業センター	足柄茶ティーバック、箱根山麓紅茶ティーバック
JA全農かながわ	県産農産物一次加工品(ピューレ、果汁など)、はるみうどん、やまゆり牛、生粋かながわ牛

にぎわいをみせた「農機展示予約会」

脱炭素に向けバッテリー式農機の展示も

2月3日・4日の2日間、JAグループとJA全農かながわ、農機指導員協議会の共催で、「農業機械展示予約会」が開催され、農機・資材メーカーを中心に約40社が出展。2日間で1,288人が来場した。

本展示会は、コロナ禍でしばらく開催を見送っていたが「農業機械は実物を見てから買いたい」という組合員の要望もあり、マスクの着用、受付時の手指消毒などの感染症対策を講じた上で、今年度夏から再開している。

会場入口隣のブースには、全国1万人以上の声を反映させて開発した「共同購入中型トラクター」や令和



4年5月より取り扱いを開始した「関東6県JAグループスペシャルトラクター」が並び、来場者は試乗したりメーカー担当者の

話を聞いたりすることで、性能について確認した。その他、神奈川の農業に見合った機種の一括購入により低価格を実現した



「JAグループ神奈川推奨型式」にも注目が集まった。

また、今回はみどりの食料システム戦略や燃料価格高騰を受け、省エネルギーや脱炭素など環境配慮も意識した展示が多く見受けられた。電動農機具コーナーでは、バッテリー式のチェーンソーや刈払機、運搬車などが注目を集めた。

農機・自動車課は「原料価格の高騰や輸送コストの上昇など生産環境は一段と厳しさを増しているが、一度に異なるメーカーで比較ができるこの機会を生かし、組合員のニーズに合わせた農機の推進をしていきたい。」と話した。

「三浦市産大根使用おろしダレのチャーシュー丼」新発売

期間限定 県内・都内一部のセブン-イレブンにて

株式会社セブン-イレブン・ジャパン（以下、セブン-イレブン）では、三浦市農協・JA全農かながわと連携し「三浦市産大根使用おろしダレのチャーシュー丼」を1月31日に発売した。

平成23年に県とセブン-イレブンが締結した「連携と協力に関する包括協定」に基づいて開発された商品で、今回はかながわブランドにも登録されている「三浦のだいこん」を使用した。特徴的な甘さ、ち密な肉質を生かし、粗おろしとダイスカットした大根に加え、ゆずも香るおろしダレをごろごろ食感のチャーシューにかけて味わう一品。脂ののったチャーシューとさっぱりとしたおろしダレのバランスが食欲をそそる。

新型コロナウイルス感染拡大による外食需要の減少に伴い、市場ではダイコンの供給過剰が発生。このような要因もありダイコンの価格は低迷しており、産地では出荷を抑制し、廃棄するといった事例も後を絶たない。

三浦市農協とセブン-イレブンは連携し、本会は本商

品の企画・原料供給のサポートを行った。セブン-イレブン店舗と一緒に、大根の魅力の再発見ならびに地産地消の推進を目指す。



このほか、2月21日（火）より「三浦市産キャベツ使用季節限定春を味わうコールスローサラダ」を神奈川県全店と東京の一部の店舗で発売。また、「豚バラ大根（三浦市産大根使用）」についても神奈川県の一部店舗で発売を予定している。

〈概要〉

商品名：三浦市産大根使用 おろしダレのチャーシュー丼

発売日：令和5年1月31日

価格：税抜570円

販売店舗：神奈川県内、東京都の一部（品川区、目黒区、大田区、渋谷区）のセブン-イレブン

※既に販売は終了しております。

施設連研修会 省エネルギー対策を学ぶ

3年ぶりの開催 交流再開のきっかけも目指す

神奈川県施設野菜組合連合会（事務局：JA全農かながわ 農産総合課）は2月6日、神奈川県農業技術センターで「神奈川県施設野菜組合研修会」を3年ぶりに開催した。本研修会は、施設野菜生産者の生産技術の向上および、経営の安定を目的としており、生産者とJA職員など63人が出席した。

研修会では、3つの講演が実施された。県農業技術センターは「施設園芸の省エネルギー技術について」「施設花きの省エネルギーについて」と題し、農林水産省が作成した「省エネルギーマニュアル」や、今すぐに見える省エネルギー対策、施設花きにおける日没後昇温処理（EOD-Heating）の効果を紹介した。ネボン株式会社は「暖房システムによる省エネルギー技術に

ついて」と題し、暖房機のメンテナンス方法や効率的な暖房方法、また代替技術の開発状況といった最新事情を説明した。



会場の一角では展着剤や梱包資材、花粉交配用ミツバチの説明資料などが展示され、生産者はメーカー担当者から説明を受けていた。

神奈川県施設野菜組合連合会の小菅信一会長は「コロナ禍前と同じぐらいの参加者に集まってもらえた。今後も顔を合わせる機会を作り、情報を持ち寄って意見交換をするきっかけにしていければ」と話した。

県オリジナルイチゴ「かなこまち」を黒岩知事に贈呈

神奈川県いちご連組合連合会 澤地正典会長らは1月18日、県庁にて県オリジナル品種「かなこまち」を黒岩祐治知事に贈呈した。知事をはじめ、多くの県民に「かなこまち」を知ってもらいたいという想いから実現したものだ。

贈呈時には試食も行い、黒岩知事は「香りがすごい。甘さと酸っぱさもちょうどいい」と感想を話した。澤地会長は「各県品種を開発している中、神奈川県でも独自の品種を作っていたことはありがたいことだと感じている。これからも大切に育てていきたい」と話した。

